

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年4月30日
第6号

テニス支部春季で優勝・準優勝 佐藤由唯さん・大塩あやのさん

4月27日、第30回小樽支部高等学校春季テニス大会が開催され、女子シングルスで佐藤由唯さん（13）が優勝、大塩あやのさん（11）が2位に入賞した。ダブルスでは佐藤由唯・大塩あやの組が優勝した。

目標は全国ベスト4

2冠の佐藤由唯さんは望洋台中学校出身で、札幌市のライジングテニスクラブに所属する。テニス歴は10年。既に中学校で全国ベスト8入りしており、本校にはチャレンジ奨学生として入学した。1年生ながら、今大会では第1シードに入り、「優勝を狙っていた」という。シングルスには36名がエントリーしていた。目標は高く「全国ベスト4入りすること」。得意のバックハンドで旋風を起こす気配だ。

大塩あやのさんは小樽市在住、北星女子中出身。小1からグリーンテニスクラブに所属し、週2回練習している。特進クラスなので忙しい生活を送る。「ダブルスでは佐藤さんに助けられた」と語る。目標は高体連で全道大会に出場すること。目標達成に一步步前進している。



1-3 佐藤由唯さん 1-1 大塩あやのさん

バドミントン女子支部3つの準優勝 団体、S山田、D尾山・米澤

バドミントン部は北本亮輔さんを監督に迎え、快進撃が続いている。支部春季大会、4月19日、20日（俱知安）に個人戦、27日（小樽市）に団体戦が行われ、女子団体が準優勝、シングルスで山田瑠菜さんが準優勝、ダブルスで尾山葵衣さん・米澤芽唯さんが準優勝した。「高体連でも全道進出を」と士気が高まっている。



2列目 細田美桜(3-2) 住吉もも(2-3) 松尾花奈(3-2) 佐藤亜樹(3-3)
1列目 山田瑠菜(2-3) 渡辺莉央(3-4) 堀るみ(3-4) 米澤芽唯(1-4) 尾山葵衣(1-4)

成長し、結果出せた

部長の堀るみさんは「今大会で自分たちの成長の手応えが感じられた。実力を出せて、この結果につながった。高体連ではこの成績以上の結果を出せるように頑張りたい」と語っている。

点差縮めた、次こそは

シングルスの山田瑠菜さんは「同じ相手と決勝で戦っているが、前回よりも点差を縮めることができたので、成長はしている。これをモチベーションに、次は自分の納得できる試合にし、勝ちたい」と語る。

監督の作戦、応援支えに

ダブルスで僅差で敗れ、準優勝となった尾山・米澤組は「結果を出せたのは作戦を考えてくれた北本監督のおかげ。メンタル面の支え、部員の応援も心強かった。調子の波を作らないように戦いたい」と語った。

僅差で競り勝ち自信を

北本亮輔さんは「生徒たちはすごく頑張り、良い成績が残せたと思います。僅差ですべて負けているので、最後に自信をもってプレーできるように、日々の練習で鍛えてほしい」と語る。個人戦は全道大会が5月8日から室蘭で開催される。

- 個人戦ダブルス
準優勝 尾山葵衣・米澤芽唯
ベスト8 山田瑠菜・住吉もも
ベスト16 松尾花奈・堀るみ
- 個人戦シングルス
準優勝 山田瑠菜
ベスト16 米澤芽唯
- 団体戦 準優勝
堀るみ・渡辺莉央・松尾花奈
佐藤亜樹・山田瑠菜・住吉もも・尾山葵衣・米澤芽唯